

# 被災地連携、復興後押し

# 熊本の地場産品販売

## 温泉保養施設「せせらぎ荘」



町特産の天然炭酸水を手「福島と熊本の懸け橋になりたい」と意気込む岩田所長。お土産コーナーには熊本県など九州の特産品が並んでいる

大好き！  
金  
取材中  
山

59市町村応援プロジェクト

福島民報の購読申し込みは  
☎0120-373437

今年九月にリニューアルオープンした金山町温泉保養施設「せせらぎ荘」は指定管理者が熊本市の企業という縁で熊本県特産の馬肉など地場産品を販売

し、被災地の復興支援に取り組んでいる。来年度からは九州で奥会津の魅力発信する企画が動き出す。福島と熊本。大地震の被災地同士が手をとり合いながら地域活性化を進めている。

「町特産の炭酸水はいかがですか。熊本の馬肉もありますよ」。入浴客を出迎えた「せせらぎ荘」の指定管理者・グッドスタッフ東京営業本部所長で施設責任者の一人の岩田勝也さん(仮)は販売する商品の一つ一つPRした。

施設内の食堂では会津と熊本の馬刺しの食べ比べができる。お土産コーナーには熊本県の人気キャラクター「くまモン」のグッズなど商品約二十点を取りそろえている。

オオヤマザクラを植樹する(左から)遠藤常務、長谷川町長、五ノ井議長



### 民報社寄贈 妖精美術館前

「せせらぎ荘」の特徴の天然炭酸温泉は希少な人気が高い泉質の一つ。入浴客は九月二十五日のオープンから一カ月間で約三千三百人になった。想定の二倍以上で町外の利用者も七割弱を占める。町産業課の伊藤敬商工観

光係長(仮)も「町外の人が多く地域活性化につながっている。予想を上回る人気ぶり」と驚く。

岩田所長は「金山町は豪雨災害の影響も受け、復興は道半ば。何か力になりたい」。日々に思いを強くして

今後は同る北九州の泉施設で割引券を

酸温泉がせせらぎ荘を全国でも炭酸温泉、在している